## 専門実践教育訓練明示書

講座の名称	ITIL(R)エキスパート研							
実 施 方 法	<del>- ① 通学 ( 昼間 -</del>	夜間・土日	—— ② 通信	<b>ン</b> スクーリン	ング(回数 5回)			
指定講座番号	4 8 1 8	9 — 1	8 1 0	0 1	5			
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付 対象講座の指定期間	金 過去一 年の講 座実績	入講者数(	12人)	修了者数 (12.	人)		
平成24 年3月26日	平成33年3月31日							
訓練期間		総訓練	270	時間				
1. 教育訓練目標								
		□ 業務狙	<b>虫占資格・名称独占</b>	資格(		)		
	□ 職業	□ 職業実践専門課程 ( )						
	□専門	職学位	(		)			
		□職業	実践力育成プログ	<b>ブラム</b> (		)		
①取得目標とする資格の	名称、目標レベル		通信技術関係資料	,	®エキスパート)	ĺ		
			産ニュストリストスタイ 産業革命スキル習行	,	- (XXX 17)	)		
				•	カクタや生	,		
	秋 月 訓 粿 を	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等						
②①に係る資格・試験等		PEOPLECERT						
③当該資格等を取得する 格等		ITIL®ファンデーション(Ver.3)資格を取得していること、および ITサービス関連実務に2年以上従事していること						
④当該技能・知識の習得種・職務及び習得されたする業界と活用状況		、 ITサービスの戦略、企画、設計、移行、運用業務						
2. 教育訓練の内容	字							
教 科	(カリキュラム)		時間	使	更用 教 材 名			
教 科 概	(カリキュラム) 論(スクーリング)	<i>L</i> 35.\	6.5時間	使	見用 教 材 名			
教 科 概 SOA(eラー:	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・		6.5時間 52時間	使	見用 教 材 名			
教 科 概 SOA(eラー= PPO(eラー=	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ ニング、通信、スクーリン・	<b>グ</b> )	6.5時間 52時間 51時間	使	見用 教 材 名			
教 科 概 SOA(eラー: PPO(eラー: RCV(eラー:	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間	使	見用教材名			
教 科 概 SOA(eラー- PPO(eラー- RCV(eラー- OSA(eラー-	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間	伎	<b>見用教材名</b>			
教 科 概 SOA(eラー- PPO(eラー- RCV(eラー- OSA(eラー-	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間	使	医用教材名			
教 科 概 SOA(eラー- PPO(eラー- RCV(eラー- OSA(eラー-	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間	伎	<b>見用教材名</b>			
教 科 概 SOA(eラー- PPO(eラー- RCV(eラー- OSA(eラー-	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間	使	医用教材名			
教 科 概 SOA(eラー- PPO(eラー- RCV(eラー- OSA(eラー-	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間	使	<b>見用教材名</b>			
教 科 概 SOA(eラー- PPO(eラー- RCV(eラー- OSA(eラー-	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間	使	医用教材名			
教 科 概 SOA(eラー- PPO(eラー- RCV(eラー- OSA(eラー-	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間	使	E 用 教 材 名			
教 科 概 SOA(eラー- PPO(eラー- RCV(eラー- OSA(eラー-	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間	使	用 教 材 名			
教 科 概 SOA(eラー- PPO(eラー- RCV(eラー- OSA(eラー-	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ)	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間	使	E 用 教 材 名			
教科 SOA(eラー: PPO(eラー: RCV(eラー: OSA(eラー: MALC(eラー:	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・ニング、通信、スクーリン・	グ) グ) グ) ·グ)	6.5時間 52時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間 54.3時間					
教科 SOA(eラー: PPO(eラー: RCV(eラー: OSA(eラー: MALC(eラー:	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリング ニング、通信、スクーリング ニング、通信、スクーリング ニング、通信、スクーリング ニング、通信、スクーリング ニング、通信、スクーリング	グ) グ) グ) ・グ) ・を受講するため!	6.5時間 52時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間 54.3時間	る条件など)				
教 科 SOA(eラー: PPO(eラー: RCV(eラー: OSA(eラー: MALC(eラー: 3. 受講者となるた	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリング	グ) グ) グ) ・グ) ・を受講するため「	6.5時間 52時間 52時間 51時間 54.3時間 54.3時間 54.3時間 54.3時間	る条件など)	務経験			
教 科 概 SOA(eラー: PPO(eラー: PPO(eラー: RCV(eラー: OSA(eラー: MALC(eラー MALC(eラー MALC(eラー で) で) で	(カリキュラム) 論(スクーリング) ニング、通信、スクーリング	グ) グ) グ) ・グ) ・を受講するため「	6.5時間 52時間 51時間 54.3時間 52.3時間 54.3時間 こ必要とされてい	る条件など)	務経験			

## 専門実践教育訓練明示書

<u> </u>		456 .2	<u>,, ,, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		
4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1)資格取得状況					
① 前年度の修了者数	12	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	12	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	12	人	受験率(3/2)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	11	人	合格率(4/3)	91.7	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			

12

人 就職·在職率(⑤+⑥/②)

100.0

%

- ※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。
  - この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。
- ※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、 修了後に別の職に転職した者。

## (2)受講修了者による講座の評価等

⑥ (1)(修了者数)のうち在職者数 ※2

(二/文件) 1 日1000	が					
① 回答者総数		0	人			
② 受講開始時の就 業状況等	1 正社員	0	人	②A:就業者		
	2 非正社員、派遣社員	0	人			
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	J	0	
	4 非就業	0	人		②B:非就業者計	
	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人			
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人			
	3 社内外の評価が高まる	0	人	×204	③の回答数合計 と同数(又はそれ	
③ 就業中の受講者 による講座の評価	4 円滑な転職に役立つ	0	人	**@F	スピー数(文はてれる 以下)	
	5 趣味・教養に役立つ	0	人			
	6 その他の効果	0	人			
	7 特に効果はない	0	人	]	0	
	1 早期に就職できる	0	人	]		
④ 就業していない 受講者による講座の 評価	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		の回答数合計	
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人	※②Bと同数(又	Bと同数(又はそ	
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		れ以下)	
	5 その他の効果	0	人			
	6 特に効果はない	0	人	J	0	
⑤ 受講者の就業状 況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	<u> </u>	の回答数合計	
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	0	人		Bと同数(又はそ	
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	0	人		れ以下)	
	4 就職していない	0	人		0	
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人		の回答数合計	
	2 おおむね満足	0	人	*\(\text{\psi}\)	と同数(又はそれ 以下)	
	3 どちらとも言えない	0	人	}	0	
	4 やや不満	0	人			
	5 大いに不満	0	人	J		

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル 到達度の把握・測定方法 ・スクーリング: 出欠状況を記録する・Eラーニング: S/W eden管理者画面より受講状況を確認する・自己学習: 各科目ごとに課題を提出させ、提出状況を記録する 一定のレベルに達していない者に対しては個別に指導を行なう (研修規則書 個別研修に関する規定 1(2))

(通信制講座の場合)
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

・スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

スクーリングを実施(研修規則書 個別研修に関する規定 1(7))

## 専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把	捏方法							
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席 <sup>図</sup> 準)	率•定期試験、	進級試験等の具体的基	スクーリング:出席率90%以上 および Eラーニング:受講率90%以上 および 自己学習:課題全提出(研修規則書 個別研修に関する規定 1(1))					
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識 のレベル到達度把握・測定方法			・スクーリング:出欠状況を記録する ・Eラーニング:S/W eden管理者画面より 受講状況を確認する ・自己学習:各科目ごとに課題を提出させ、提出状況を記録する 一定のレベルに達していない者に対しては個別に指導を行なう (研修 規則書 個別研修に関する規定 1(2))					
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)			スクーリング:出席率90%以上 および Eラーニング:受講率90%以上 および 自己学習:提出課題の評価において 全てに優良可のいずれかを取得した者を 修了と認定する(研修規則書 個別研修に関する規定 1(3))					
(4)修了認定基準 のレベル到達度把		標に対する技能・知識	・スクーリング:出欠状況を記録する・Eラーニング:S/W eden管理者画面より受講状況を確認する・自己学習:各科目ごとに課題を提出させ、講師査読により優・良・可・不可に判別し、到達度を把握する。一定のレベルに達していない者に対しては個別に指導を行う(研修規則書 個別研修に関する規定1(4))					
7. 受講中又は修	了後における	受講者に対する指導及び	び助言並びに支援の	の方法				
(1)受講中の者に な助言・指導の方法		理解度に関する具体的	スクーリング:「演習」の中で、具体的アドバイス実施 講義中、講義後に質疑応答。 Eラーニング:受講者の受講進捗状況を定期的に確認し、一定レベルに達していない者に 対してはメールでフォローを行う(研修規則書 個別研修に関する規定 1(5))					
体的なバックアップ	。 体制 るや資格関連職種の	登格取得・就職への具 D求人情報の提供方法、早期		ット)等で、必要に応じて資 引研修に関する規定 1(				
8. その他の事項	į							
指 定 教 育 訓 総 及 び 代 ま		株式会社アーク		(代:	表者名:荒川 幸式 )			
住 所 及 び 連 絡 先 東京都文京区本郷5丁			「目33番10号 TEL 03-5577-5311					
施 設 名 称 及 び 施 設 長 名 株式会社アーク			(施設長:荒川 幸式 )					
住 所 及 び 連 絡 先 東京都文京区本郷5丁			- 目33番10号 TEL 03-5577-5311					
苦情受付者	氏名 荒川 洋	<u></u> ≰子 所属 取締役	事務担当	者 氏名 荒川 洋子	产 所属 取締役			
連絡先	TEL 03-	5577-5311	連絡先	TEL 03-5577-	-5311			
専門実践教育訓練	専門実践教育訓練経費 1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 1,382,400 円							
支払い方法	(※割	料 (税込額) 引・還元措置を実施した の差引き後の税込額と			0 円			
②分割払				第1期	1,382,400 円 円			
<del>③ 両 方 可 能</del>	(※害	料(税 込 額)  引・還元措置を実施した の差引き後の税込額と		第2期 第3期 第4期 第5期	円 円 円			
				第6期 (うち、必須教材費	円 ノ 0 円)			
	2. 専門	  実践教育訓練給付金の	対象外となる経費	(1 + 2 + 3 + 4)	0円			
	1	任意の教材費(税込額)	)		0 円			
	_	実習等に伴う交通費・宿	写泊費(税込額)		0 円			
	0	施設維持費(税込額)	\$ DCの指字/D №	松 作 記手 ひき ひんしょう	0 円			
	3. 総額	- ての他(法人への奇句) 	並、Γ∪い頂舌体陜	料、情報誌代)(税込額)	1,382,400 円			
1					, , ==			